

オーストラリアの多文化主義政策を学ぶ ～多文化主義政策交流プログラム実施報告～

シドニー事務所

1. プログラム概要

11 月 25 日から 30 日の 6 日間、日本の地方自治体や国際関係団体から派遣された 8 名の参加者を迎え、シドニーにて「[多文化主義政策交流プログラム](#)」を実施しました。

総人口の 25% が海外生まれであり、18% が家庭では英語以外の言語を使用するというオーストラリア。先進的な多文化主義政策を実施するこの国で、移民が集住する自治体や NPO など計 9 箇所を訪問し、直接移民と接しながら活躍する方々の講義を受けました。

2. プログラムの内容

当事務所においてプログラムを企画するにあたり、外国人が集住する複数市町の多文化共生部署にアンケートを行い、特に学びたい分野についてニーズを調べました。その結果を参考に、①移民が集住する地域における行政・NPO・学校等の連携、②定住支援（就労支援を含む）、③治安・防災をテーマとし、各施設を訪問しました。

参加者から特に人気の高かった 3 施設をご紹介します。

(1) ニューサウスウェールズ (NSW) 州多文化コミュニティ関係委員会

(Community Relations Commission for a multicultural NSW(CRC))

NSW 州の多文化主義政策を担当する政府機関。州全体の多文化主義政策の企画立案を担当している。また各省庁施策における多文化主義政策の取り組み状況を確認し、その結果（必要に応じて勧告）を大臣に報告する。大臣は州議会に提出する。



CRC の HP に紹介されました

【参加者による所見】

- ・ 州の多文化に関する中枢機関でありながら、現場が第一という姿勢であった
- ・ 政府関係機関でありながら独自支援策を生み出している

(2) 移民情報センター (Community Migrant Resource Centre)

移民、難民の生活向上のために設立された非営利団体。主に連邦政府からの助成金で運営されており、定住支援のための情報及びサービスの提供を行っている。
例：職業訓練、行政への紹介、英語教室、格安の自動車運転免許講習など。

【参加者による所見】

- ・ 移民が移民のために働き、常に新しいプログラムを考えている
- ・ 移民に対する具体的な定住支援策が学べた
- ・ 直接移民に接する NGO が様々なアイデアをもって活動している

(3) NSW 州警察省 (NSW Police Force)

多様な文化的・言語的背景を持つコミュニティと警察間の良好な関係の構築や、各種移民へのサポート政策を行っている。警察とコミュニティの橋渡し役である行政職員「多文化政策担当官 (Multicultural Community Liaison Officer 「MCLO」)」を配備し、きめ細かい対応を実施している。



MCLO と本省担当官の講義を受講

【参加者による所見】

- ・ 実施機関側の多様性に富んだ体制である
- ・ 英語を話さない市民への情報提供の方法が印象的
- ・ MCLO の存在と各担当の話が印象的で警官だけでなく専門職が活躍している点が参考になった

3. 参加者が学んだ知識を日本の皆さんにも

参加者の皆さんには、この研修を通して学んだことを報告書としてまとめていただきました。8名が得た知識を広く周知し、日本の多文化共生施策の参考に資するものとするため、当事務所のホームページに掲載しています。

移民として来豪した担当者自身の経歴を生かし、新たに来豪した移民を支援する姿や、事業に継続性を持たせるための工夫、また文化的・言語的背景が多様なコミュニティに対する情報提供方法など、ここで紹介しきれなかったことは[こちら](#)で御確認ください。

また、2006 年度以降の報告書を[分野別](#)に編てつしたのも掲載しています。こちらをあわせて御活用ください。

(平澤所長補佐 広島県派遣)